



令和3年 秋号



## 秋から冬にかけて気を付けたい感染症 【ノロウイルスについて】

秋から冬にかけて気を付けたい感染症は、インフルエンザの他に溶連菌咽頭炎、マイコプラズマ肺炎、感染性胃腸炎などがあります。今回は感染性胃腸炎のひとつである「ノロウイルス」についてご説明いたします。

### 感染性胃腸炎(ノロウイルス)について

感染性胃腸炎の原因はウイルスや細菌などです。ノロウイルスは、その原因のひとつです。

<特徴> 手指や食品などを介して経口で感染し、ヒトの腸管で増殖します。感染した糞便には大量のウイルスが排出されます。

<症状> 吐き気・嘔吐・下痢・腹痛・発熱などです。特にそれに伴う脱水症に注意が必要です。

<対処方法> 下痢便・吐しゃ物・おむつは次亜塩素酸ナトリウム(家庭用塩素系漂白剤)で消毒する必要があります。この消毒液は家庭でも作ることができます。

家庭内に感染者がいる場合は下記の表を参考に消毒液を作り、正しく使用しましょう。

**\*この消毒液はあくまでも物品用です。嘔吐があっても慌てて肌にかけることは絶対に避け、人体には使用しないようにしましょう。**

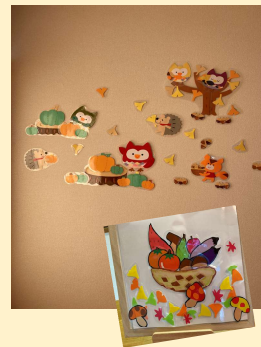


### 消毒液の作り方

- ノロウイルスに対しては、次亜塩素酸ナトリウムによる消毒が有効です。
- 次亜塩素酸ナトリウムは、市販の「家庭用塩素系漂白剤(濃度約5%)」に含まれています。
- ここでは、「家庭用塩素系漂白剤」を使用した、消毒液の作り方を紹介します。
- ペットボトルを使用すると簡単に作ることができます(キャップ一杯が約5ml)

消毒液を使用する場所・物	出来上がる消毒液の濃度	作り方
ドアノブ、手すりなど、感染者が直接触れた場所・物	200ppm (0.02%)	家庭用塩素系漂白剤 10ml + 水 2.5ℓ (500mlのペットボトル5本分) 
嘔吐物、便等が直接付着した場所・物	1,000ppm (0.1%)	家庭用塩素系漂白剤 10ml + 水 0.5ℓ (500mlのペットボトル1本分) 

## 保育室も秋の装い



コロナ禍、そしてRSウイルスが猛威を振るった夏が終わり、「とんことり」の壁面や花びんに飾られる花にも秋がやってきました。

秋分を過ぎてからは、日に日に日没が早くなっていることを実感します。

「とんことり」のきりん部屋は、午後になると西日が射し込みます。

お昼寝の後にカーテンを開けると入室中のAちゃんが隣の部屋に向けて「ばいばい」をしています。見てみると、窓とは反対側の壁に窓に貼ってあるセロファン製の鳥や花が映し出されていました。

「何年もここにいるのに知らなかった！」と大人一同、Aちゃんと一緒に、傾いた陽の光でできた影絵に見入っていました。



クワアゲハがいますどーこだ!?

### 検査にご協力をお願いいたします

緊急事態宣言が解除となり、巷に広がる閉塞感もほんの少しずつ和らいできたように思います。日本人の新型コロナウイルスワクチン接種率も60%ほどになりましたが、子どもは未接種という現状です。強い感染力と未知の病態に医療従事者は慎重にならざるを得ない状態が続いていることには変わりありません。「とんことり」でも感染対策をより強力なものとし、皆様に安心して利用して頂けるよう準備しております。

病状によっては、医師の判断の下、必要な検査をしてから入室して頂いています。検査に時間を要するものもありますが、ご協力をお願いいたします。

